

食品安全委員会の6月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第384回 6月2日(木)

- (1) 食品健康影響評価
 ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（3品目）	クロルピリホス、ピラクロニル、シクラニリド
---------	-----------------------

- (2) 平成23年度食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の対象課題の案について
 ・平成23年度食品健康影響評価技術研究の新規対象課題及び平成23年度食品安全確保総合調査の対象課題が案のとおり決定された
- (3) 前回の食品安全委員会における質疑応答に関し、農林水産省からうずらのニューカッスル病の発生件数について訂正の連絡があったことを事務局から報告

第385回 6月9日(木)

- (1) 各専門調査会における審議結果についての報告
 ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

遺伝子組換え食品等（1品目）	LYS-No. 1F株を利用して生産された塩酸L-リジン
----------------	------------------------------

- (2) 食品健康影響評価
 ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（1品目）	アセタミプリド
動物用医薬品/飼料添加物（1品目）	アビラマイシン

- (3) 企画専門調査会における審議結果について
 ・担当委員の長尾委員及び事務局から報告があり、「平成22年度食品安全委員会運営計画のフォローアップ」について了承され、「平成22年度食品安全委員会運営状況報告書」について決定された
- (4) 食品安全委員会の5月の運営について
 ・事務局から報告
- (5) ドイツにおける腸管出血性大腸菌の発生について
 ・担当委員の熊谷委員及び事務局から説明

第386回 6月16日(木)

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬 (12品目)	エスプロカルブ、クロチアニジン、チアメトキサム、ノバルロン、フェリムゾン、フルオピラム、プロスルホカルブ、プロピコナゾール、ペンチオピラド、イソキサチオン、イソウロン、フェナリモル
遺伝子組換え食品等 (5品目)	乾燥耐性トウモロコシMON87460系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種 (既に安全性評価が終了した1品種を除く)、 乾燥耐性トウモロコシMON87460系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種 (既に安全性評価が終了した1品種を除く)、 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種 (既に安全性評価が終了した2品種を除く)、 DP-No. 1 株を利用して生産されたアスパルテーム、 GLU-No. 4 株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム

- ・「エスプロカルブ」、「ノバルロン」及び「フェリムゾン」の農薬3品目については、今後、委員会において審議を行い、必要に応じて評価書を改訂することとし、残り9品目においては農薬専門調査会において審議することとなった
- ・遺伝子組換え食品等5品目については、遺伝子組換え食品等専門調査会において審議することとなった。その際、遺伝子組換え植物の掛け合わせについて、その内容によっては専門調査会における審議を経ることなく、食品安全委員会で審議を行うことも可能と考えられるため、遺伝子組換え植物の掛け合わせに関する取扱いについて専門調査会で検討し、次回以降の食品安全委員会に報告することとなった

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬 (4品目)	ビフェントリン、クロラントラニリプロール、トリフロキシストロビン、MCPA
----------	---------------------------------------

第387回 6月23日(木)

○ 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬 (2品目)	フルフェノクスロン、メタアルデヒド
----------	-------------------

第388回 6月30日(木)

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

新開発食品(1品目)	サラシア100
------------	---------

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(3品目)	スピロメシフェン、フルジオキシニル、ピリダベン
農薬及び動物用医薬品(1品目)	オキシリニック酸
遺伝子組換え食品等(1品目)	pCol株を利用して生産されたプロテアーゼ
新開発食品(1品目)	トリグリティー及びミドルケア粉末スティック

2. 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第38回 6月3日(金)

- ・「平成22年度食品安全委員会運営計画のフォローアップ」及び「平成22年度食品安全委員会運営状況報告書(案)」について審議し、原案のとおり、食品安全委員会に報告することを決定。また、食品安全委員会のリスク評価の迅速化や専門性の強化について、専門委員及び専門参考人から意見が出され、食品安全委員会として今後の体制強化の検討に活用していくこととなった
- ・「平成23年度自ら評価案件選定の進め方」について審議し、「平成23年度「自ら評価」案件の決定までのフロー(案)」のとおり、事務局において更に検討することとなった。また、平成22年度「自ら評価」案件である「加熱時に生じるアクリルアミド」の進め方、平成22年度「自ら評価」案件として選定されなかったものに係る情報提供、ファクトシート作成等のスケジュールについて事務局から報告が行われた

(2) 添加物専門調査会

第96回 6月28日(火)

- ・「サッカリンカルシウム」、「サッカリン」及び「サッカリンナトリウム」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった

(3) 農薬専門調査会

第7回 農薬専門調査会評価第三部会 6月1日(水) ※非公開

- ・「ジカンバ」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、農薬専門調査会幹事に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答について評価部会で確認することとなった

第8回 農薬専門調査会評価第四部会 6月7日(水) ※非公開

- ・「シプロジニル」について調査審議し、継続審議となった

第8回 農薬専門調査会評価第二部会 6月14日（火）※非公開

- ・「ファモキサドン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、農薬専門調査会幹事に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答について評価部会で確認することとなった

第8回 農薬専門調査会評価第一部会 6月21日（火）※非公開

- ・「ジフェノコナゾール」について調査審議し、継続審議となった

第73回 農薬専門調査会幹事会 6月22日（水）

- ・「フルジオキシニル」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった
- ・「フルバリネート」について検討の結果、評価第四部会において調査審議することとなった
- ・「メタゾスルフロン」について検討の結果、評価第三部会において調査審議することとなった
- ・「アルジカルブ」について前回の農薬専門調査会幹事会における審議結果を踏まえて作成された回答案が了承され、食品安全委員会に報告することとなった

(4) 動物用医薬品専門調査会

第132回 6月24日（金）※非公開

- ・「アセトアミノフェン」について調査審議し、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった
- ・「ラクトフェリン」について調査審議し、継続審議となった

(5) 肥料・飼料等専門調査会

第46回 6月6日（月）薬剤耐性菌に関するワーキンググループ

※第22回微生物・ウイルス専門調査会と合同で開催

- ・「塩酸ピルリマイシンを有効成分とする乳房注入剤（ピルスー）の承認に係る薬剤耐性菌」について、評価対象動物用医薬品が牛に使用された結果としてハザードが選択され、牛由来食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できないが、リスクの程度は低度であると考えられた
- ・なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえ、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要であることが了承され、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった

(6) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第92回 6月27日（月）※非公開

- ・「DP-NO. 1株を利用して生産されたアスパルテム」について調査審議し、継続審議となった
- ・「GLU-NO. 4株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった
- ・「乾燥耐性トウモロコシMON87460系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した1品種を除く）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった
- ・「乾燥耐性トウモロコシMON87460系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMO

N89034系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した1品種を除く）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった

- ・「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した2品種を除く）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった
- ・遺伝子組換え植物の掛け合わせ品種の審議に係る今後の取扱いについて、意見交換を行った

（7）新開発食品専門調査会

第77回 6月22日（水）

- ・「食品中のトランス脂肪酸」について調査審議し、継続審議となった

（8）放射性物質の食品健康影響評価に関するワーキンググループ

第5回 6月16日（木）

- ・ウラン、プルトニウム、アメリシウム及びキュリウムの各アルファ核種に関し、各専門委員等が分担して確認を行った「とりまとめ（案）」について事務局から説明を行い、審議が進められた。「ウラン」について、化学物質としての毒性を指標として用いること、動物実験における低用量での実験結果の取扱いについてデータの質等を検討した上で、結論を出すこととなった。また、健康影響に関するデータが限られている「アメリシウム」及び「キュリウム」は、プルトニウムと併せて評価することとなり、引き続き検討することとなった

第6回 6月30日（木）

- ・ヨウ素、セシウム、ストロンチウムの各β核種に関し、各専門委員等が分担して整理した知見について事務局から説明を行い、審議が進められ、更に精査することとなった
- ・また、核種横断的な低線量影響、妊産婦・小児への影響について議論され、今後、集中的な議論を行うため、次回会合までに座長が中心となってとりまとめに向けた作業を行うこととなった

3. 意見交換会等の開催

意見交換会「食品の安全を考える～食肉の生食による食中毒のリスクを中心に～」

6月18日（土）＜静岡県三島市＞

- ・第6回食育推進全国大会にあわせて、静岡県との共催により開催
- ・静岡県から静岡県における食品の安全確保のための取組について、食品安全委員会事務局から食肉の生食による食中毒のリスクについて話題提供を行った後、参加者の皆さんから疑問や意見を自由にカードに書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施